



ワイヤレスネットワークの設定の使用例

- [ワイヤレスネットワークの設定の使用例 \(1 ページ\)](#)
- [高可用性の使用例 \(1 ページ\)](#)
- [ワイヤレスモビリティの使用例 \(4 ページ\)](#)
- [AP 管理の使用例 \(12 ページ\)](#)
- [ワイヤレスコントローラの移行の使用例 \(15 ページ\)](#)

ワイヤレスネットワークの設定の使用例

次の使用例は、ワイヤレスネットワークの設定を理解するために役立ちます。

高可用性の使用例

次のトピックは、ワイヤレスネットワークの高可用性 (HA) の使用例を理解するために役立ちます。

シスコ ワイヤレス コントローラ HA の設定

シスコ ワイヤレス コントローラ HA を使用すると、ワイヤレスコントローラをプライマリ ワイヤレスコントローラのバックアップとして使用できます。アクティブワイヤレスコントローラは、すべての AP、クライアントトラフィックを処理し、AP およびクライアントデータベースをスタンバイ ワイヤレスコントローラ と共有します。フェールオーバーが発生すると、スタンバイ ワイヤレスコントローラ がすぐに動作を引き継ぐため、クライアントサービスのダウンタイムがゼロになり、SSID の停止が回避されます。

始める前に

- 両方のワイヤレスコントローラが同じフォームファクタであることを確認します。
- 両方のワイヤレスコントローラが同じソフトウェアバージョンを実行していることを確認します。

- ワイヤレスコントローラ HA は、80 ミリ秒のラウンドトリップ時間 (RTT) の最大冗長ポートリンク遅延、60 Mbps の最小帯域幅、および 1500 の最小最大伝送ユニット (MTU) をサポートしています。
- 両方のワイヤレスコントローラの冗長ポートが物理的に、またはレイヤ2 仮想ネットワークを介して、接続されていることを確認します。レイヤ2 仮想ネットワークを介して冗長ポートを接続する場合は、リンク遅延、帯域幅、および MTU の要件が満たされていることを確認します。
- ESXi、KVM、および Hyper-V で動作している Cisco Catalyst 9800-CL ワイヤレスコントローラの場合は、冗長ポートが同じ仮想スイッチに接続されていることを確認します。

-
- ステップ 1** インベントリにワイヤレスコントローラがあることを確認します。詳細については、[インベントリについておよびネットワーク デバイスを追加](#)を参照してください。
- ワイヤレスコントローラがインベントリにない場合は、検出機能を使用して検出します。詳細については、[ネットワークの検出](#)を参照してください。
- ステップ 2** 両方のワイヤレスコントローラがインベントリで「管理対象」 (Managed) 状態であることを確認します。詳細については、[インベントリに関する情報の表示](#)を参照してください。
- ステップ 3** **show redundancy** コマンドを使用して、両方のワイヤレスコントローラで動作冗長モードが「非冗長」 (Non-redundant) であることを確認します。
- ステップ 4** 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します: **[Provision] > [Inventory]** の順に選択します。
- ステップ 5** 必要なワイヤレスコントローラの横にあるチェックボックスをオンにして、**[Actions] > [Provision] > [Configure WLC HA]** の順にクリックします。
- ステップ 6** **[Redundancy Management IP]** と **[Peer Redundancy Management IP]** にそれぞれ冗長性管理 IP アドレスとピア冗長性管理 IP アドレスを入力します。
- 冗長性管理 IP およびピア冗長性管理 IP に使用される IP アドレスは、ワイヤレスコントローラの管理インターフェイスと同じサブネットに設定する必要があります。これらの IP アドレスがこのサブネット範囲内で未使用の IP アドレスであることを確認します。
- ステップ 7** ネットマスクを入力します。
- ステップ 8** **[Select Secondary WLC]** ドロップダウンリストから、セカンダリワイヤレスコントローラを選択します。
- ステップ 9** Cisco Catalyst 9800-CL ワイヤレスコントローラには専用の冗長ポートがないため、冗長ポートに使用するインターフェイスを選択します。
- (注) アプライアンスペースの Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラには専用の冗長ポートがあるため、これらのデバイスの場合は、冗長ポートインターフェイスを選択する必要はありません。
- ステップ 10** **[Configure HA]** をクリックします。
-

次のタスク

HA のステータスを確認するには、**show redundancy** コマンドを使用します。次に、このコマンドの出力例を示します。

```

cat 9800-1 #show redundancy
Redundant System Information :
-----
Available system uptime = 5 minutes
Switchovers system experienced = 0
Standby failures = 0
Last switchover reason = none

Hardware Mode = Duplex
Configured Redundancy Mode = sso
Operating Redundancy Mode = sso
Maintenance Mode = Disabled
Communications = Up

Current Processor Information :
-----
Active Location = slot 1
Current Software state = ACTIVE
Uptime in current state = 3 minutes
Image Version = Cisco IOS Software (Bengaluru), C9800-CL Software (C9800-CL-K9_IOSXE), Version 17.6.3, RELEASE SOFTWARE (fc4)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2022 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Wed 08/02/2023 23:13 by sssss
Configuration register = 0x2102
Recovery mode = Not Applicable

Peer Processor Information :
-----
Standby Location = slot 2
Current Software state = STANDBY HOT
Uptime in current state = 3 minutes
Image Version = Cisco IOS Software (Bengaluru), C9800-CL Software (C9800-CL-K9_IOSXE), Version 17.6.3, RELEASE SOFTWARE (fc4)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2022 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Wed 08/02/2023 23:13 by sssss
BOOT =
CONFIG_FILE =
Configuration register = 0x2102

```

プライマリ ワイヤレスコントローラの優先順位を確認するには、**show chassis** コマンドを使用します。プライマリ ワイヤレスコントローラの優先順位が 2 に変更され、そのロールがアクティブである状態が確保されます。次に、このコマンドの出力例を示します。

```

cat 9800-1 #show chassis
Chassis/Stack Mac Address : 000c.2972.9b46 - Local Mac Address
Mac persistency wait time: Indefinite

```

| Chassis# | Role | Mac Address | Priority | H/W Version | Current State | IP |
|----------|---------|----------------|----------|-------------|---------------|------------|
| *1 | Active | 000c.2972.9b46 | 2 | V02 | Ready | 172.16.0.2 |
| 2 | Standby | 0050.56ae.a54f | 1 | V02 | Ready | 172.16.0.3 |

シスコ ワイヤレス コントローラ N+1 HA の設定

シスコ ワイヤレス コントローラ N+1 HA では、ワイヤレスコントローラ を複数のプライマリ ワイヤレスコントローラ のバックアップとして使用できます。Catalyst Center は、N+1 HA のステートフル スイッチオーバーをサポートしておらず、各 ワイヤレスコントローラ を個別に管理する必要があります。



- (注)
- Catalyst Center は、プライマリおよびセカンダリ ワイヤレスコントローラ の N+1 HA 設定をサポートしています。Catalyst Center は、ターシャリ ワイヤレスコントローラ 設定をサポートしていません。
 - プライマリ ワイヤレスコントローラ 設定を編集する場合は、更新された設定を使用してセカンダリ ワイヤレスコントローラ を手動で再プロビジョニングします。

-
- ステップ 1** インベントリにワイヤレスコントローラがあることを確認します。詳細については、[インベントリについておよびネットワーク デバイスを追加](#)を参照してください。
- ワイヤレスコントローラがインベントリにない場合は、検出機能を使用して検出します。詳細については、[ネットワークの検出](#)を参照してください。
- ステップ 2** 両方のワイヤレスコントローラがインベントリで「管理対象」 (Managed) 状態であることを確認します。詳細については、[インベントリに関する情報の表示](#)を参照してください。
- ステップ 3** エンタープライズおよびゲストワイヤレス SSID を作成します。詳細については、[エンタープライズ ワイヤレス ネットワーク用 SSID の作成およびゲスト ワイヤレス ネットワークの SSID の作成](#)を参照してください。
- ステップ 4** SSID の作成時にワイヤレス ネットワーク プロファイルを作成した場合は、それをプライマリ ワイヤレス コントローラ管理対象サイトに割り当てます。左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します: **[Design]>[Network Profiles]**の順に選択し、ワイヤレス ネットワーク プロファイルに対応する **[Assign Site]** オプションをクリックします。
- ステップ 5** プライマリ ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。ロールとして **[Active Main WLC]** を選択します。詳細については、[Cisco AireOS コントローラのプロビジョニング](#)および[Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のプロビジョニング](#)を参照してください。
- ステップ 6** セカンダリ ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。ロールとして **[Active Main WLC]** を選択し、セカンダリ ワイヤレスコントローラの管理対象 AP の場所 (プライマリ ワイヤレスコントローラの管理対象 AP の場所と同じもの) を選択します。詳細については、[Cisco AireOS コントローラのプロビジョニング](#)および[Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のプロビジョニング](#)を参照してください。
- ステップ 7** AP をプロビジョニングします。詳細については、[シスコ製 AP のプロビジョニング : Day 1 AP プロビジョニング](#)を参照してください。
-

ワイヤレスモビリティの使用例

次のトピックは、ワイヤレスネットワークのモビリティ設定の使用例を理解するために役立ちます。

ワイヤレスモビリティの設定

Catalyst Center でのモビリティ設定により、ネットワーク内のシスコワイヤレス コントローラ間にトンネルを確立して、相互に通信させ、動的に情報を共有させることができます。モビリティトンネルにより、ワイヤレスネットワーク内のクライアントのシームレスなローミングが可能になります。この手順では、次の使用例でワイヤレスコントローラ間にモビリティトンネルを設定する手順について説明します。

- 同じモビリティグループを持つ新たに追加された 2 つのワイヤレスコントローラ : 2 つのワイヤレスコントローラは Catalyst Center に新たに追加されていて、まだプロビジョニングされていません。

- 同じモビリティグループを持つ既存の2つのワイヤレスコントローラ：ワイヤレスコントローラはすでに Catalyst Center に追加されてプロビジョニングされており、同じモビリティグループ名を持っています。
- 異なるモビリティグループを持つ既存の2つのワイヤレスコントローラ：ワイヤレスコントローラはすでに Catalyst Center に追加されてプロビジョニングされており、異なるモビリティグループ名を持っています。
- 2つの既存のワイヤレスコントローラと3つ目のワイヤレスコントローラ：2つのワイヤレスコントローラの間にある既存のモビリティグループに新しいワイヤレスコントローラが追加されます。

始める前に

- インベントリにシスコワイヤレスコントローラがあり、それらが「管理対象」 (Managed) 状態であることを確認します。詳細については、[インベントリについておよびインベントリに関する情報の表示](#)を参照してください。
- ワイヤレスモビリティ設定の詳細については、[モビリティ設定の概要](#)を参照してください。

ステップ1 同じモビリティグループを持つ新たに追加されたワイヤレスコントローラの場合は、次の手順を実行します。

- a) **show wireless mobility summary** コマンドを実行して、コントローラ間に既存のモビリティトンネルがないことを確認します。
- b) いずれかのワイヤレスコントローラを選択して、モビリティグループを設定し、もう一方のワイヤレスコントローラをピアとして追加します。詳細については、[モビリティグループの設定](#)を参照してください。
- c) プロビジョニングする前に設定を確認します。
- d) ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。

(注) 2つ目のワイヤレスコントローラをプロビジョニングする必要はありません。最初のワイヤレスコントローラのピアとして追加すると、同じモビリティグループ名とピア設定で自動的にプロビジョニングされます。

ステップ2 同じモビリティグループを持つ2つの既存ワイヤレスコントローラの場合は、次の手順を実行します。

- a) ワイヤレスコントローラに同じモビリティグループ名が設定されていることを確認します。詳細については、[インベントリについておよびインベントリに関する情報の表示](#)を参照してください。
- b) いずれかのワイヤレスコントローラを選択して、モビリティグループを設定し、もう一方のワイヤレスコントローラをピアとして追加します。詳細については、[モビリティグループの設定](#)を参照してください。
- c) プロビジョニングする前に設定を確認します。
- d) ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。

- (注) 2つ目のワイヤレスコントローラをプロビジョニングする必要はありません。最初のワイヤレスコントローラのピアとして追加すると、同じモビリティグループ名とピア設定で自動的にプロビジョニングされます。

ステップ3 異なるモビリティグループを持つ2つの既存ワイヤレスコントローラの場合は、次の手順を実行します。

- a) ワイヤレスコントローラにモビリティグループ名が設定されていることを確認します。詳細については、[インベントリについておよびインベントリに関する情報の表示](#)を参照してください。
- b) いずれかのワイヤレスコントローラを選択して、モビリティグループを設定し、もう一方のワイヤレスコントローラをピアとして追加します。詳細については、[モビリティグループの設定](#)を参照してください。
- c) プロビジョニングする前に設定を確認します。
- d) ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。

- (注) 2つ目のワイヤレスコントローラをプロビジョニングする必要はありません。最初のワイヤレスコントローラのピアとして追加すると、同じモビリティグループ名とピア設定で自動的にプロビジョニングされます。

ステップ4 2つのワイヤレスコントローラの間にある既存のモビリティグループに新しいワイヤレスコントローラを追加する場合は、次の手順を実行します。

- a) [Mobility] タブでモビリティグループ名とモビリティピア情報を調べることにより、既存のワイヤレスコントローラの間にもモビリティトンネルが確立されていることを確認します。詳細については、[インベントリについておよびインベントリに関する情報の表示](#)を参照してください。
- b) 新たに追加されたワイヤレスコントローラを選択して、モビリティグループを設定し、他の2つの既存ワイヤレスコントローラをピアとして追加します。詳細については、[モビリティグループの設定](#)を参照してください。
- c) プロビジョニングする前に設定を確認します。
- d) ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。

- (注) 既存の2つのワイヤレスコントローラをプロビジョニングする必要はありません。新たに追加されたワイヤレスコントローラのピアとして追加すると、同じモビリティグループ名とピア設定で自動的にプロビジョニングされます。

次のタスク

プロビジョニング後に、各コントローラで **show wireless mobility summary** コマンドを実行して、モビリティトンネルのステータスを確認します。


```

#LC1#show wireless mobility summary
Mobility Summary
Wireless Management VLAN: 1
Wireless Management IP Address: 172.16.0.5
Wireless Management IPv6 Address:
Mobility Control Message MCM Value: 48
Mobility High Cipher: False
Mobility TLS Supported Ciphers: TLS_ECDHE_RSA_AES128_GCM_SHA256, TLS_RSA_AES256_GCM_SHA384, TLS_RSA_AES128_CBC_SHA
Mobility Resealive Interval/Count: 10/3
Mobility Group Name: mobility1
Mobility Multicast IPv4 address: 0.0.0.0
Mobility Multicast IPv6 address: ::
Mobility MAC Address: 001e.7ae1.09ff
Mobility Domain Identifier: 0x72ab

Controllers configured in the Mobility Domain:

```

| IP | PTU | Public Ip | MAC Address | Group Name | Multicast IPv4 | Multicast IPv6 | Status |
|------------|------|------------|----------------|------------|----------------|----------------|--------|
| 172.16.0.5 | N/A | N/A | 001e.7ae1.09ff | mobility1 | 0.0.0.0 | :: | N/A |
| 172.16.0.6 | 1385 | 172.16.0.6 | 001e.bd0a.c2ff | mobility1 | 0.0.0.0 | :: | Up |

```

#LC1#show wireless mobility summary
Mobility Summary
Wireless Management VLAN: 1
Wireless Management IP Address: 172.16.0.6
Wireless Management IPv6 Address:
Mobility Control Message MCM Value: 48
Mobility High Cipher: False
Mobility TLS Supported Ciphers: TLS_ECDHE_RSA_AES128_GCM_SHA256, TLS_RSA_AES256_GCM_SHA384, TLS_RSA_AES128_CBC_SHA
Mobility Resealive Interval/Count: 10/3
Mobility Group Name: mobility1
Mobility Multicast IPv4 address: 0.0.0.0
Mobility Multicast IPv6 address: ::
Mobility MAC Address: 001e.bd0a.c2ff
Mobility Domain Identifier: 0x72ab

Controllers configured in the Mobility Domain:

```

| IP | MAC Address | Group Name | Public Ip | Multicast IPv4 | Mul licast IPv6 | Status | |
|------------|-------------|------------|----------------|----------------|--------------------|------------|-----|
| 172.16.0.6 | N/A | N/A | N/A | 001e.bd0a.c2ff | mobility1 | 0.0.0.0 :: | N/A |
| 172.16.0.5 | 1385 | 172.16.0.5 | 001e.7ae1.09ff | mobility1 | 0.0.0.0 | :: | Up |

アンカー/外部ワイヤレスモビリティの設定

Catalyst Center でのアンカー/外部ワイヤレス設定により、異なるワイヤレスネットワーク上のシスコワイヤレスコントローラ間でワイヤレスモビリティを確立できます。アンカー/外部セットアップでは、外部ワイヤレスコントローラは、モビリティトンネル内のクライアント L3 トラフィックをカプセル化し、アンカーワイヤレスコントローラに転送します。アンカーワイヤレスコントローラは、トンネルのカプセル化を解除し、クライアントトラフィックを切り替えます。ここでは、次の使用例でアンカー/外部ワイヤレスモビリティを設定する手順について説明します。

- 新しく追加された2つのワイヤレスコントローラを設定します。1つのアンカーワイヤレスコントローラと1つの外部ワイヤレスコントローラです。
- 新しく追加された3つのワイヤレスコントローラを設定します。1つのアンカーワイヤレスコントローラと2つの外部ワイヤレスコントローラです。
- 新しく追加された3つのワイヤレスコントローラを設定します。1つの外部ワイヤレスコントローラと2つのアンカーワイヤレスコントローラです。
- アンカー/外部セットアップを削除します。

始める前に

- インベントリにシスコワイヤレスコントローラがあり、それらが「管理対象」(Managed)状態であることを確認します。詳細については、[インベントリについておよびインベントリに関する情報の表示](#)を参照してください。
- show wireless mobility summary** コマンドを使用して、ワイヤレスコントローラ間に既存のモビリティトンネルがないことを確認します。

ステップ 1 ワイヤレスネットワークの SSID を作成し、新しいワイヤレス ネットワーク プロファイルに関連付けます。詳細については、[エンタープライズワイヤレス ネットワーク用 SSID の作成](#)または[ゲストワイヤレス ネットワークの SSID の作成](#)を参照してください。

[Associate SSID to Profile] ステップで、[Add Profile] オプションを選択し、次のように設定します。

- [Profile Name] : プロファイルの名前を入力します。
- [Fabric] : [No] を選択します。
- [Do you need Anchor for this SSID?] : [Yes] を選択します。

ステップ 2 1 つのアンカー ワイヤレス コントローラと 1 つの外部ワイヤレスコントローラのシナリオでは、次の手順を実行します。

a) 新しく作成したワイヤレスプロファイルを、外部ワイヤレスコントローラによって管理されるサイトに割り当てます。

サイトを割り当てるには、次の手順を実行します。

- 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します : **[Design] > [Network Profiles]**の順に選択します。
- プロファイルを選択し、**[Assign Site]** をクリックします。サイトの作成については、[サイトの作成、編集、削除](#)を参照してください。

b) アンカー ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。

- ワイヤレスコントローラのロールとして **[Anchor WLC]** を選択し、**[Managed AP location(s)]** でアンカーの管理対象 AP の場所を選択します。
- インターフェイスの詳細を設定します。
- 必要に応じて、その他の詳細設定を指定し、展開します。

ワイヤレスコントローラのプロビジョニングの詳細については、[Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のプロビジョニング](#)または[Cisco AireOS コントローラのプロビジョニング](#)を参照してください。

c) 外部ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。

- ワイヤレスコントローラのロールとして **[Active Main WLC]** を選択し、**[Managed AP location(s)]** で管理対象 AP の場所を選択します。
- 必要に応じて、その他の詳細設定を指定し、展開します。

ワイヤレスコントローラのプロビジョニングの詳細については、[Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のプロビジョニング](#)または[Cisco AireOS コントローラのプロビジョニング](#)を参照してください。

d) ワイヤレスコントローラの下に AP をプロビジョニングします。

APに正しいSSIDがあることを確認します。APのプロビジョニングの詳細については、[シスコ製 AP のプロビジョニング : Day 1 AP プロビジョニング](#)を参照してください。

ステップ 3 1つのアンカー ワイヤレス コントローラと2つの外部ワイヤレスコントローラのシナリオでは、次の手順を実行します。

- a) 新しく作成したワイヤレスプロファイルを、外部ワイヤレスコントローラによって管理されるサイトに割り当てます。
 - 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：**[Design]**>**[Network Profiles]**の順に選択します。
 - プロファイルを選択し、**[Assign Site]**をクリックします。サイトの作成については、[サイトの作成、編集、削除](#)を参照してください。
- b) アンカー ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。
 - ワイヤレスコントローラのロールとして**[Anchor WLC]**を選択し、**[Managed AP location(s)]**で管理対象 AP の場所（両方の外部サイト）を選択します。
 - インターフェイスの詳細を設定します。
 - 必要に応じて、その他の詳細設定を指定し、展開します。

ワイヤレスコントローラのプロビジョニングの詳細については、[Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のプロビジョニング](#)または[Cisco AireOS コントローラのプロビジョニング](#)を参照してください。

- c) 外部ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。
 - ワイヤレスコントローラのロールとして**[Active Main WLC]**を選択し、**[Managed AP location(s)]**で管理対象 AP の場所を選択します。
 - 必要に応じて、その他の詳細設定を指定し、展開します。

ワイヤレスコントローラのプロビジョニングの詳細については、[Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のプロビジョニング](#)または[Cisco AireOS コントローラのプロビジョニング](#)を参照してください。

- d) ワイヤレスコントローラの下に AP をプロビジョニングします。

APに正しいSSIDがあることを確認します。APのプロビジョニングの詳細については、[シスコ製 AP のプロビジョニング : Day 1 AP プロビジョニング](#)を参照してください。

ステップ 4 1つの外部ワイヤレスコントローラと2つのアンカー ワイヤレス コントローラのシナリオでは、次の手順を実行します。

- a) 新しく作成したワイヤレスプロファイルを、両方のワイヤレスコントローラ（外部とアンカー）によって管理されるサイトに割り当てます。
 - 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：**[Design]**>**[Network Profiles]**の順に選択します。

- プロファイルを選択し、[Assign Site] をクリックします。サイトの作成については、[サイトの作成、編集、削除](#)を参照してください。

b) 外部ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。

- ワイヤレスコントローラのロールとして [Active Main WLC] を選択し、[Managed AP location(s)] で管理対象 AP の場所（外部サイトとアンカーサイトの両方）を選択します。
- 必要に応じて、その他の詳細設定を指定し、展開します。

ワイヤレスコントローラのプロビジョニングの詳細については、[Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラのプロビジョニング](#)または[Cisco AireOS コントローラのプロビジョニング](#)を参照してください。

c) アンカー ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。

- ワイヤレスコントローラのロールとして [Anchor WLC] を選択し、[Managed AP location(s)] で管理対象 AP の場所を選択します。
- インターフェイスの詳細を設定します。
- 必要に応じて、その他の詳細設定を指定し、展開します。

ワイヤレスコントローラのプロビジョニングの詳細については、[Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラのプロビジョニング](#)または[Cisco AireOS コントローラのプロビジョニング](#)を参照してください。

d) ワイヤレスコントローラの下に AP をプロビジョニングします。

AP に正しい SSID があることを確認します。AP のプロビジョニングの詳細については、[シスコ製 AP のプロビジョニング : Day 1 AP プロビジョニング](#)を参照してください。

次のタスク

プロビジョニング後、Catalyst Center は、アンカー ワイヤレス コントローラと外部ワイヤレス コントローラの間にもビリティトンネルを自動的に作成します。モビリティトンネルのステータスを確認するには、各コントローラで **show wireless mobility summary** コマンドを使用します。次に、コマンドの出力例を示します。

```

#show wireless mobility summary
Mobility Summary
Wireless Management VLAN: 1
Wireless Management IP Address: 172.16.0.7
Wireless Management IPv6 Address:
Mobility Control Message DSCP Value: 48
Mobility High Cipher : false
Mobility DTLS Supported Ciphers: TLS_ECDHE_RSA_AES128_GCM_SHA256, TLS_RSA_AES256_GCM_SHA384, TLS_RSA_AES128_CBC_SHA
Mobility Keepalive Interval/Count: 10/3
Mobility Group Name: default
Mobility Multicast IPv4 address: 0.0.0.0
Mobility Multicast IPv6 address: ::
Mobility MAC Address: 001e.bd0a.c2ff
Mobility Domain Identifier: 0x34ac

Controllers configured in the Mobility Domain:

```

| IP | PMTU | Public Ip | MAC Address | Group Name | Multicast IPv4 | Multicast IPv6 | Status |
|------------|------|------------|----------------|------------|----------------|----------------|--------|
| 172.16.0.7 | N/A | | 001e.bd0a.c2ff | default | 0.0.0.0 | :: | N/A |
| 172.16.0.8 | N/A | 172.16.0.8 | 001e.e657.ddff | default | 0.0.0.0 | :: | Up |

```

#show wireless mobility summary
Mobility Summary
Wireless Management VLAN: 1
Wireless Management IP Address: 172.16.0.8
Wireless Management IPv6 Address:
Mobility Control Message DSCP Value: 48
Mobility High Cipher : false
Mobility DTLS Supported Ciphers: TLS_ECDHE_RSA_AES128_GCM_SHA256, TLS_RSA_AES256_GCM_SHA384, TLS_RSA_AES128_CBC_SHA
Mobility Keepalive Interval/Count: 10/3
Mobility Group Name: default
Mobility Multicast IPv4 address: 0.0.0.0
Mobility Multicast IPv6 address: ::
Mobility MAC Address: 001e.e657.ddff
Mobility Domain Identifier: 0x34ac

Controllers configured in the Mobility Domain:

```

| IP | PMTU | Public Ip | MAC Address | Group Name | Multicast IPv4 | Multicast IPv6 | Status |
|------------|------|------------|----------------|------------|----------------|----------------|--------|
| 172.16.0.8 | N/A | | 001e.e657.ddff | default | 0.0.0.0 | :: | N/A |
| 172.16.0.7 | N/A | 172.16.0.7 | 001e.bd0a.c2ff | default | 0.0.0.0 | :: | Up |

ワイヤレスコントローラで次のモビリティ設定を確認します。

- 両方のワイヤレスコントローラに同じ WLAN およびポリシープロファイルがある。
- 外部ワイヤレスコントローラでポリシータグが作成され、AP にマッピングされている。
- アンカー ワイヤレスコントローラ用に VLAN インターフェイスが作成され、ポリシープロファイルにマッピングされている。

アンカー/外部セットアップの削除

アンカー/外部セットアップを削除するには、次の手順を実行します。

1. アンカー ワイヤレス コントローラと外部ワイヤレスコントローラ間のモビリティトンネルが「稼働」 (up) 状態であることを確認します。
2. ワイヤレスネットワーク用に作成された SSID を削除します。
 1. 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します : **[Design] > [Network Settings]** の順に選択します。
 2. **[Wireless]** タブをクリックします。
 3. 左側の階層ツリーから、**[Global]** を選択します。
 4. **[SSID]** テーブルで SSID を選択し、**[Delete]** をクリックします。
3. 外部ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。

プロビジョニングの **[Summary]** ウィンドウで、SSID の詳細が削除されていることを確認します。

プロビジョニング後、Catalyst Center がアンカー ワイヤレス コントローラと外部ワイヤレスコントローラ間のモビリティトンネルを自動的に削除し、WLANおよびポリシープロファイルがすべてのワイヤレスコントローラで削除されます。

AP 管理の使用例

次のトピックは、ワイヤレスネットワークの AP 管理の使用例を理解するために役立ちます。

AP Configuration

Catalyst Center では AP に関して次の操作を実行できます。

- AP の AP レベルのパラメータと無線レベルのパラメータを設定します。
- AP の定期的なイベントをスケジュールします。
- 既存のテンプレートを使用して AP を設定します。

詳細については、[Catalyst Center での AP 設定](#)を参照してください。

AP の更新

Catalyst Center を使用して、古い AP モデルを新しい AP モデルに置き換えることができます。Catalyst Center でプロビジョニングされた AP とプロビジョニングされていない AP の両方を新しい AP に置き換えることができます。詳細については、[AP 更新ワークフロー](#)を参照してください。

ROW AP の設定

その他の地域 (ROW) ドメイン AP を設定するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 必要な国コードを使用して AP プロファイルを作成し、カスタムサイトタグを設定します。詳細については、[Cisco IOS XE デバイスの AP プロファイルの追加設定を行う](#)および[ネットワークプロファイルへの AP グループ、Flex グループ、サイトタグ、およびポリシータグの追加](#)を参照してください。

(注) AP プロファイルを作成しない場合、Catalyst Center は、AP プロビジョニングまたは AP PnP オンボーディング時に、選択されたサイトの国コードと ROW AP のサイトタグを使用して AP プロファイルを自動生成します。

ステップ 2 運用国のサポートを、ワイヤレスコントローラの国リストに追加します。ワイヤレスコントローラの管理対象 AP ロケーションとして、運用国の少なくとも 1 つのサイトを設定する必要があります。詳細については、[Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のプロビジョニング](#)を参照してください。

- ステップ3** ワイヤレスコントローラが**ステップ1 (12 ページ)** および**ステップ2 (12 ページ)** の設定でまだプロビジョニングされていない場合は、ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。詳細については、[Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のプロビジョニング](#)を参照してください。
- ステップ4** AP パラメータを設定します。詳細については、[AP の設定](#)を参照してください。
- ステップ5** AP をプロビジョニングします。詳細については、[シスコ製 AP のプロビジョニング : Day 1 AP プロビジョニング](#)を参照してください。

(注) 既存の AP があるサイトに ROW AP をオンボーディングすると、既存の AP のサービスが短時間中断する可能性があります。

次のタスク

AP の設定を確認するには、`show ap summary` コマンドを使用します。次に、このコマンドの出力例を示します。

```
C9800LC-94#show ap summary
Number of APs: 4
CC = Country Code
RD = Regulatory Domain
```

| AP Name | Slots | AP Model | Ethernet MAC | Radio MAC | CC | RD | IP Address | State | Location |
|------------------|-------|------------|--------------|-----------|----|-----|------------|------------|----------|
| AP68-C9130F-8D48 | 3 | C9130AXI-B | 3c41. | 1416. | IN | -B | | Registered | Texas |
| C9138AXI-5A48 | 3 | C9138AXI-D | 548a. | 488b. | IN | -D | | Registered | DEFAULT |
| C9136I-E1F4 | 4 | C9136I-ROW | 4891. | 6cd6. | IN | -RW | | Registered | DEFAULT |
| C9115AXI-4AD4 | 2 | C9115AXI-D | 6c41. | a4b4. | IN | -D | | Registered | DEFAULT |

このコマンドにより、APの国コード (CC) と規制ドメイン (RD) が表示されます。ROW AP の場合、規制ドメインは **-RW** です。



- (注) ROW AP の場合、コマンド出力の国コードが --のときは、その国コードが AP に関して使用不可であることを示します。国コードのない ROW AP については、すべての無線の動作ステータスが **down** になります。ROW AP の国コードを設定するには、ROW AP をプロビジョニングする必要があります。

ワイヤレスメッシュネットワークの設定

シスコワイヤレスメッシュネットワーク内の AP は、次のいずれかの方法で動作します。

- ルート AP (RAP) : 有線ネットワークに接続されます。
- メッシュ AP (MAP) : ワイヤレス接続を使用して他の MAP および RAP と通信します。

ワイヤレスメッシュネットワークを設定するワークフローに含まれる主な手順は、次のとおりです。

1. ワイヤレスコントローラのプロビジョニング : メッシュプロファイルを設定し、AP 認証リストを設定して、ワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。
2. AP の設定 : AP をブリッジモードで設定し、展開します。

3. APプロビジョニング：APのメッシュロール（RAPまたはMAP）を設定し、APをプロビジョニングします。

始める前に

すべてのAPはMAPとして設定され、出荷されています。APをRAPとして使用するには、APのプロビジョニング時にそのAPをRAPとして再設定する必要があります。メッシュネットワークには、少なくとも1つのRAPが含まれている必要があります。ワイヤレスメッシュネットワークのシスコワイヤレスコントローラ設定およびAP設定の詳細については、[ワイヤレスメッシュネットワークについて](#)を参照してください。

-
- ステップ1 Catalyst Centerのデバイスインベントリ（**[Provision] > [Inventory]**）で、ワイヤレスコントローラとAPが管理対象状態であり、それぞれのサイトに割り当てられていることを確認します。
 - ステップ2 メッシュ設定を使用してAPプロファイルを作成します。詳細については、[Cisco IOS XE デバイスのAPプロファイルのメッシュ設定を行う](#)および[Cisco AireOS デバイスのAPプロファイルのメッシュ設定を行う](#)を参照してください。
 - ステップ3 APのイーサネットMACアドレスをAP認証リストに追加します。詳細については、[AP承認リストの作成](#)を参照してください。
 - ステップ4 シスコワイヤレスコントローラをプロビジョニングします。詳細については、[Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラのプロビジョニング](#)および[Cisco AireOS コントローラのプロビジョニング](#)を参照してください。

プロビジョニング設定のウィンドウで、手順3で定義したAP認証リストを選択し、メッシュアクセスポイントのみを許可するオプションを選択します。
 - ステップ5 （オプション）アクセスポイント設定ワークフローでAPを選択し、APモードが[Local/Flexconnect]モードの場合は[Bridge/Flex+Bridge]モードに変更します。詳細については、[APの設定](#)を参照してください。
 - ステップ6 APをプロビジョニングします。詳細については、[シスコ製APのプロビジョニング：Day 1 APプロビジョニング](#)を参照してください。
 - RAPの場合は、[Mesh Role]で[RAP (Root AP)]を選択します。
 - MAPの場合は、[Mesh Role]で[MAP (Mesh AP)]を選択します。

次のタスク

次のコマンドを使用して、シスコワイヤレスコントローラのメッシュ設定を確認できます。

- APのイーサネットMACアドレス：**show run | inc username**
- プロビジョニング後のAPのメッシュロール（MAP/RAP）：**show wireless mesh ap summary**
- サイトタグの詳細：**show wireless tag site detailed <site tag name>**
- APプロファイル：**show run | section ap profile**

- ワイヤレスメッシュ設定：
 - `show wireless profile mesh summary`
 - `show wireless profile mesh detailed <mesh profile name>`

RMA ワークフローを使用した AP の交換

Catalyst Center の返品許可 (RMA) 機能を使用して、ネットワーク内の障害のあるアクセスポイントを交換できます。RMA ワークフローにより、障害が発生したデバイスを迅速に交換できるため、生産性が向上し、運用コストが減少します。ワイヤレス AP の場合、交換用デバイスは同じサイトに割り当てられ、プライマリ ワイヤレスコントローラ、RF プロファイル、および AP グループ設定でプロビジョニングされ、障害が発生した AP と同じ Catalyst Center のフロアマップの場所に配置されます。

詳細については、[障害のあるアクセスポイントの交換](#)を参照してください。

ワイヤレスコントローラの移行の使用例

次のトピックは、シスコ ワイヤレス コントローラの移行の使用例を理解するために役立ちます。

Cisco AireOS ワイヤレスコントローラの Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラへの移行

Catalyst Center で「デバイス構成の学習」 (Learn Device Configurations) ワークフローを使用することにより、Cisco AireOS ワイヤレスコントローラから Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラに移行できます。移行は、ワークフローを使用して、移行するワイヤレスコントローラからデバイス設定を学習し、学習した設定で新しいワイヤレスコントローラをプロビジョニングすることによって実現されます。

詳細については、[Catalyst Center を使用した Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレスコントローラへの Cisco AireOS コントローラの移行](#)を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。